

SONG SAA

FOUNDATION

カンボジアのロン群島の海洋環境を守る ソンサー・ファンデーション設立

2013年10月



カンボジア、シアヌークビルの沖合に浮かぶアイランド・リゾート、ソンサー・プライベートアイランドは、この度カンボジア南部、タイランド湾ロン群島地域の環境保全強化を目的とした、「ソンサー・ファンデーション」を正式に設立しました。サンゴ礁、マングローブが生い茂る林、ウミガメ、ジンベイザメ、タツノオトシゴ等が生息する天然資源が豊かで美しいロン群島は、東南アジアで最も多様性に富みながらも、最も知られていない海洋環境といえるでしょう。

このファンデーションの設立者であり、ソンサー・プライベートアイランドのオーナー、ローリーとメリタ・ハンターが約7年間に渡りロン群島を保護するために尽力して来た結果が、この「ソンサー・ファンデーション」です。2000年にハンター夫妻が初めてこの地を訪れ、後にカンボジア初のラグジュアリー・リゾート、ソンサー・プライベートアイランドを開発する際にも、常に持続可能性に力を注いできたからこそ、このリゾートをオープンすることができました。「ロン群島に初めてのリゾートを建設する立場に接した時、私たちの行動が将来の環境に良い影響を与えることができるか…、また現地のコミュニティに対して、雇用を始めとする新しい機会と未来も与えることができるのか…、などの責任は大変大きいと感じていました。さらにこの地域でのリゾート開発の先駆者として、リゾート開発、環境保全、コミュニティ活動は決して矛盾するコンセプトではないということを証明し、後発の開発企業にとっても良い参考となる存在になりたいと考えました。」とローリーはコメントしています。

これまでは、数々の受賞歴を誇るソンサー・プライベートアイランドが行う環境保全とコミュニティ・プログラムとして、ハンター夫妻とスタッフは活動してきましたが、今後は、「ソンサー・ファンデーション」として、同様の活動を継続して行きます。「7年以上前にソンサー・プライベートアイランドの周囲を、カンボジア初の海洋保護地域として定める活動から始め、さらに近隣の村全体で固形廃棄物の管理システムを実施するなど、様々な試みを実施してきました。非常に協力的な近隣コミュニティがあったからこそ、多くの計画が実行でき、目に見える結果を出すことができました。」と、メリタ・ハンターは語っています。



SONG SAA

F O U N D A T I O N

ファンデーションは今月初め、群島最大となる医療支援活動をコーディネートしました。アメリカを拠点とする団体「インターナショナル・メディカル・リリーフ」の協力のもと、5日間で1000人が治療を受けることができ、これは実に群島全人口の50%以上を占める人数です。現在、ファンデーションでは船を改修し、移動可能なサステナビリティ学習センターを準備中です。「ボート・オブ・ホープ（希望の船）」と名付けられたこのプロジェクトは、2014年後半にその学習航海をスタートさせる予定です。また、9月21日、「ソンサー・ファンデーション」の設立を記念して、いくつかのアクティビティが開催されました。インターナショナル・コースタル・クリーンアップ・デイ（国際海岸清掃デイ）には、世界的に毎年開催されているビーチ・クリーンアップが行われました。



さらに地元の子供たちが海で回収した廃棄物で作ったボートのレースも行われました。「プラスティクス」と呼ばれるこのボートは、ファンデーションで子供を対象に行われているソンサー・シータートル（海亀）・スタディープログラムの一環として行われ、海のゴミやリサイクルに関する意識を高めることを目的としています。ソンサー・ファンデーションのエグゼクティブ・ディレクター、ウェイン・マッカラムはこのアプローチを「マングローブの根元から」と称して「人間の創造力と表現力を楽しく活動に取り入れて

ています。」と語っています。「群島の人たちに“あれこれ”と説く必要はありません。彼らは自分たちの目の前にある問題に既に気づいており、その改善策を求めています。ファンデーションの私たちがすべきことは、彼らにどう手を差し伸べるかを考えることであり、状況に合わせた解決策を共に考えていくことです。それを私たちは『マングローブの根元』からと表現しているのです！」

ソンサー・ファンデーションの詳細は、www.songsaafoundation.org よりご覧いただけます。

このリリースに関するお問い合わせ、資料請求は、
ソン・サー・プライベート・アイランドPR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
Tel : 03-3403-5328 Fax : 03-3403-5329 e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
Web : www.kentosnetwork.co.jp Blog : www.kentosnetwork.co.jp/blog

 twitter.com/LUXE_TRAVEL

